

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 09 DEC 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の登録記号 NT1518PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/002413	国際出願日 (日.月.年) 27.02.2004	優先日 (日.月.年) 11.08.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G09B29/00 (2006.01)		
出願人（氏名又は名称） 株式会社日立製作所		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. 附属書類は全部で ページである。

指定されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. 電子媒体は全部で ページである。
(電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

第I欄 国際予備審査報告の基礎
 第II欄 優先権
 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 第IV欄 発明の単一性の欠如
 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 第VI欄 ある種の引用文献
 第VII欄 国際出願の不備
 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 27.02.2004	国際予備審査報告を作成した日 25.11.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 松川 直樹 電話番号 03-3581-1101 内線 3266
	2T 8804

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- 出願時の言語による国際出願
 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
 國際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
 国際公開 (PCT規則12.4(a))
 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。（法第6条（PCT14条）の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。）

- 出願時の国際出願書類

- 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 _____ 項*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

- 明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表（具体的に記載すること）
 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかつたものとして作成した。（PCT規則70.2(c)）

- 明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表（具体的に記載すること）
 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 _____	有
	請求の範囲 1-10	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：榎本秀樹、非接触ICカードとGISを用いた空間情報システム、
第23回土木情報システムシンポジウム講演集、1998.10.27

文献2：佐田達典、建設分野における空間情報利用の取組み、
JACIC情報 VOL. 14 NO. 2, 1999. 07, 30

文献3：JP 2000-039342 A (板倉 安正) 2000. 02. 08
段落【0018】—【0053】、図1—3 (ファミリーなし)

請求の範囲 1-3, 10

文献1には、携帯電話によって送信可能なIDを有する非接触ICカードと、ICカードの情報を格納するGISのデータベースと、アンテナと、携帯用のパソコンと、情報管理センターとを有する地面に差し込む杭型形状の収容器を有する情報杭の空間情報システムが記載され、国際予備審査報告で新たに引用した文献3には、計測値を無線通信によって送信可能なセンサを格納した地面に差し込むだけで設置できる測定プローブが記載されており、文献3の構成を文献1の構成に組み合わせることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲 4-9

文献3の記載に加えて、文献2には、「現地で非接触IC杭を検知して、その杭の基本情報を参照できる」(第59頁左欄第14-16行)、「GISのデータベースを検索して表示している」(第59頁左欄第20-22行)、「非接触IC杭に含まれるIDをキーとして移動体通信によりGISセンターのデータベースを検索して参照する」(第59頁左欄第23行-中欄第1行)、「RTK-GPSで計測した位置情報を非接触IC杭に書き込む、あるいは非接触IC杭から読み取った座標をもとに、RTK-GPSの絶対座標を局地座標に変換するなどの双向のデータ交換がある」(第59頁中欄第20-25行)、および、「非接触IC杭の読み取りセンサーをトータルステーションに接続して、直接、杭の情報をトータルステーションに取り込みシステム」(第59頁右欄第10-14行)が記載されており、また、表示部にアイコン、ボタンとともにウインドウ表示する点が記載されており(第58頁、図-2および写真-2)、文献2の構成を文献3の構成に組み合わせることは、当業者にとって容易である。